

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第94号（通巻第161号）

2011年1月26日発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
[URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/](http://www.cer.yamanashi.ac.jp/)

■ 第3回連携・教育研究会のご報告

12月13日（月）、県総合教育センターにおいて、第3回連携・教育研究会を開催しました。今回は、特に教育センター研修主事の先生方を対象に、「テキストマイニングの教育実践研究への活用」と題し、附属教育実践総合センターの成田雅博准教授が講演を行い、約40名の方が出席されました。

講演のキーワードであるテキストマイニングとは、記述されたり話されたりしたテキスト（文章）からコンピュータや統計、数値処理等を用いて、有用な情報を取り出す手法のことで、主に教育工学分野において活用されているとのことでした。電子化された膨大なテキストデータをテキストマイニングのソフトウェアで解析することにより、あるパターンや傾向を読み取っていくものでした。構文を解析する技術が発達し、例えば、大量のアンケートなどの自由記述、ポートフォリオで蓄積された文章からある傾向をつかもうとするときなどに有効であるとのことでした。

教育センターの先生方からは、仮説検証する量的研究の補助的な手法として活用でき、自動処理によって瞬時に言語分析できるよさがある一方で、データ処理をする際、生の文章表現も大事にする必要があるという声も聞かれました。新しいデータ分析法であることから教育分野での活用が期待される興味あるお話でした。

■ 教育ボランティア学生交流会のご報告

平成22年度「教育ボランティア後期学生交流会」が12月15日（水）に、N-12教室で行われました。

学生運営委員会が企画運営する2回目の会として、「教育ボランティア活動の振り返りを通じて、お互いに情報交換をする中で、自己の成長した点や自己仮題の発見・課題解決に努め、よりよい教育ボランティア活動の指針を得る」ことをねらいに開催しました。

前半は、英語教育専修・長田翼さんと技術教育専修・小池健夫さんによる教育ボランティア体験発表、後半はグループ協議を行いました。残念なことに参加者数は少なかったですが、教育ボランティアをしている中で困ったことなどについて意見交換し、今後の活動に行かせる有意義な交流会になりました。

以下に参加者の感想をいくつか紹介します。

○教育ボランティアをするにあたり、どのようなことを心がけていくべきか、どのような悩みを抱え

ているかということ共有できてよかった。

○まだボランティアを始めたばかりなので、他の学生がどのような活動をしているのかが気になっていました。他の学生の悩みや自分と同じような体験、逆に自分とは違う体験を知ることができて、とても参考になりました。

○教育ボランティアには一人で行くので、「今日の○○はどうだった？」などと気軽に話せる相手がなくて一人で悩んでいました。違う学科で活動している人たちの話を聞きたくて参加しました。違う考えをもった人たちと本気で話せたことで、とても勉強になりました。



英語教育専修・長田翼さん



技術教育専修・小池健夫さん



グループ協議の様子

教育ボランティア学生運営委員会では、委員を募集しています！ 教育ボランティアに興味があり、やってみたいという方はJ号館F4教育実践センターへ

■ 第23回教育フォーラム ～学校と保護者の“結びあい”を考える～のご案内

近年、保護者から学校に対して様々な要求や苦情が寄せられるなかで、学校の責任範囲を大きく超えるものや学校の努力によっては解決不可能なものなどが急増してきているといわれています。教員に対する各種のアンケートなどでも、こうした要求への対応が重荷になりつつあることが示されています。また、教員志望の学生でも、この問題があるために教職にためらいを感じてしまうことが少なくないようです。

今回の教育フォーラムでは、このような学校に対する無理難題要求の問題にいち早く気づいて十年以上に亘り調査と研究に取り組んでこられた大阪大学大学院の小野田正利先生を講師としてお招きします。無理難題に振り回されるのでもなく、非常識といって切り捨てるのでもなく、適切な対応を通して学校と保護者の“結び合い”を作り上げていくにはどうすればよいのか、ともに考えていきたいと思

ます。

日時：平成23年2月13日（日） 午後1時～4時

場所：山梨大学教育人間科学部 J号館5F A会議室

講師：大阪大学大学院人間科学研究科・教授 小野田正利先生

主催：山梨大学教育人間科学部

後援：山梨県教育委員会，甲府市教育委員会

教育に関心のある方なら，教職員，学生，保護者など，どなたでも参加できます。なお，参加は無料ですが，会場準備の都合上，できるだけ事前の参加申し込みをお願いします。

申込先：附属教育実践総合センター事務室

TEL 055-220-8325 電子メール jissem@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp

■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」に関する御礼とお願い

表題教育相談に関しましてご協力下さいまして，ありがとうございました。地域連携事業は本年度で終了ではございますが，相談事業は附属教育実践総合センターの事業として来年度も継続を予定しております。つきましては，新しく着任された先生や未登録の先生方は，この機会に是非ご協力くださいますよう，お願い申し上げます。

新規登録をお考えの先生は谷口（ataniguchi@yamanashi.ac.jp）までご連絡くださいませ。ご継続いただける先生方の再登録手続きは不要ですが，相談日時等変更点がございましたら，2月10日までにご連絡ください。宜しく願いいたします。

■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは，研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり，県教育委員会へ報告しております。お手数ですが，教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等，地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/shien-report/report.cgi> にご記入いただく形で送信してください。ご協力よろしく願いいたします。

■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても，「日付・方法・相談対象・学年・性別・相談者・相談内容」をメールに書き込んでお知らせいただいても，エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので，どうぞお申し

つけください。

報告用紙は、教育人間科学部総務グループ入口をに入って左手にあるレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては、事前に教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。鍵はセンター事務室にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。